

平成23年度 理科支援員配置事業

－その取り組みと成果・課題－

ＳＣＯＴ事務局 高山賢吉

平成19年度に始まった理科支援員等配置事業は、実施要項、要領等の基本的な制度設計を図りながら、理科支援員と特別講師の効果的な配置に併せて具体的支援内容の研究に取り組んできた。

平成22年度からは理科支援員のための配置とし、特別講師の配置については廃止とした。未配置校を優先させながら14教育局管内全ての小学校に理科支援員を配置した（計画211学級）。

〔キーワード〕 理科支援員 ＳＣＯＴ事業 北海道

はじめに

今年度、ＳＣＯＴ事業5年目を迎え、4月1日にJSTとの委託契約を締結した。昨年度からは理科支援員のための配置とし、事業規模は大幅に縮小しながらも、14教育局管内全ての小学校に理科支援員を配置することができた。

今年度、理科支援員の配置を要望した学校は、145校470学級、18,930時間であり、その多くが継続（既）配置校であった。その中から未配置校を優先させながら、83校211学級、9,457時間を配置した。しかしながら、事業規模の縮小によって理科支援員の配置を要望した多くの小学校の要望に添うことができなかった。

理科人材コンソーシアム会議も委員の減員を図るとともに、各地で人材を発掘しながら、配置決定したすべての市町村立小学校に理科支援員を配置することができた。

1 この1年のＳＣＯＴ事業の歩み

- 4月1日 JSTと委託契約
支援員募集要項作成
- 5月1日 理科支援員配置開始
- 5月24日 理科人材コンソーシアム会議開催
- 6月25日 理科支援員養成研修会
- 8月12日 理科支援員実技研修会
- 1月19日 理科支援員配置事業説明会
- 2月29日 配置事業終了

2 理科人材コンソーシアム会議の開催

理科人材コンソーシアム会議には理科教育の関係者として、以下の委員が委嘱された。

- | | |
|------|--------------------------------|
| 田中 實 | 前北海道教育大学札幌校教授 |
| 境 智洋 | 北海道教育大学釧路校准教授 |
| 和田恵治 | 北海道教育大学旭川校教授 |
| 松浦俊彦 | 北海道教育大学函館校准教授 |
| 大野栄三 | 北海道大学教育学部教授 |
| 菅原昌俊 | 札幌市立和光小学校長 |
| | 北海道小学校理科研究会 |
| 下田浩氏 | 北海道経済産業局地域経済部
産業人材政策課課長補佐 |
| 竹川勇人 | 北海道教育庁学校教育局
義務教育課地域支援グループ主幹 |
| 高山賢吉 | 北海道立教育研究所附属
理科教育センターＳＣＯＴ事務局 |
| 三木勝仁 | 北海道立教育研究所附属
理科教育センター研究研修主事 |

3 理科支援員研修

- (1) 養成研修（22名参加）
6月25日（土）理科支援員養成研修会（札幌）
内容・事業の説明 ・理科支援員の服務
・基礎的な実験スキルの習得
- (2) 実技研修（22名参加）
8月12日（金） 附属理科教育センター
内容・気体検知管の使い方・試薬の調製

- ・電流計等の測定機器の使用法
- ・顕微鏡の扱い方、昆虫標本の作り方
- ・岩石や鉱物の見分け方、野外活動

4 理科支援員配置実績

- (1) 配置小学校数 83校（計211学級）
- (2) 理科支援員 74人（内複数校配置19人）
- 大学生・院生 28人（男17人 女11人）
- 退職教員 35人（男24人 女11人）
- 地域人材 11人（男4人 女7人）
- (3) 配置小学校一覧

■石狩管内

- [恵庭市] 恵の野旭小、柏小
- [江別市] 大麻西小、上江別小、大麻東小
野幌小
- [石狩市] 南線小、緑苑台小、望来小、浜益小
厚田小
- [千歳市] 信濃小、高台小
- [当別町] 西当別小、弁華別小

■渡島管内

- [函館市] 中部小、八幡小、臼尻小、上湯川小
- [北斗市] 萩野小
- [八雲町] 関内小、泊川小
- [七飯町] 大沼小、藤城小、軍川小、東大沼小
- [松前町] 白神小

■檜山管内

- [上ノ国町] 上ノ国小、河北小、滝沢小

■後志管内

- [小樽市] 桜小、豊倉小
- [京極町] 京極小

■空知管内

- [岩見沢市] 北真小、第二小、日の出小
- [美瑛市] 東小、南美瑛小
- [夕張市] ゆうばり小

■上川管内

- [旭川市] 旭川小、朝日小、富沢小、雨紛小
千代ヶ岡小、永山東小
- [東川町] 東川第一小
- [東神楽町] 志比内小
- [中富良野町] 中富良野小
- [美瑛町] 美瑛小、美瑛東小

■留萌管内

- [留萌市] 港北小、沖見小

■宗谷管内

- [稚内市] 下勇知小
- [猿払村] 浜鬼志別小

■網走管内

- [湧別町] 芭露小、中湧別小

- [遠軽町] 安国小
- [北見市] 上仁頃小、豊地小、西小、若松小
- 胆振管内
- [室蘭市] 知利別小、白鳥台小、喜門岱小
- [苫小牧市] 澄川小、明野小
- [伊達市] 黄金小
- [壮瞥町] 久保内小
- 日高管内
- [平取町] 振内小
- 十勝管内
- [帯広市] 柏小、啓北小、森の里小
- 釧路管内
- [釧路市] 湖畔小
- 根室管内
- [別海町] 上西春別小、野付小、別海小、
中春別小
- [中標津町] 中標津小、武佐小
- [標津町] 標津小、古多糠小
- [羅臼町] 羅臼小、春松小

5 SCOT通信による情報の共有

理科支援員の具体的な支援内容や活動状況を「SCOT通信」の形でデータベース化し、市町村教育委員会や学校に情報を提供する。

6 SCOT事業の目的と背景

SCOT事業は、有用な外部人材を理科支援員として理科の授業に配置し活用することで、「理科の授業における観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図ること」を目的としている。このことは、小学校教員が多忙で実験の準備などが困難なことから、理科を苦手とする教員が多いことが背景にある。

おわりに

SCOT事業には、このような実態を背景に、次の課題が残されていると考えられる。

- (1) 小学校には、理科の観察・実験を支援する恒常的な職制が必要であり、地域で理科をサポートする人材ネットワークの構築が望まれる。
- (2) 理科実験に関する力量形成には、背景となる科学の体系の修得が不可欠であるが、理科支援員が実践した具体的な支援事例を全領域にわたって網羅することにより、現職教員の資質向上も図ることができると考えられる。

（たかやま けんきち SCOT事務局コーディネーター）